



8月1日、愛宕山ふくろう公園で錦帯橋学校が開催されました。

初めに行われた木工教室では、錦帯橋の橋守業務を担う沖川公彦氏の指導で、金づちとノコギリを使ったティッシュボックスの制作や、かんな掛けの体験が行われました。参加した7人の児童生徒らは保護者に手を添えてもらいながら、普段できない体験を楽しみました。

錦帯橋模型組み立てでは、2つのグループに分かれ1橋分を

350年前の技術に学ぶ

市政 PICK-UP

錦帯橋模型組み立て・木工教室

両端から組み立てていきま
桁や梁、棟木などを組み合
た構造を実際に組み立てな
学び、約1時間程で完成させ
した。参加者は「一カ所でも
れると上手くいかないのが難
かった。これを考えた昔の人は
すごい」と話しました。

ものづくりの楽しさと、世界
唯一の錦帯橋の構造を知って
もらうことを目的としたこの教室
は、毎年夏休みに開催していま
す。

岡錦帯橋課 ☎(29)5107



完成した模型は高さ1.3メートル、長さ8メートルで、錦帯橋の第3橋の5分の1の大きさ

図書館へ足を運ぶきっかけに

7月21日、中央図書館のヤングアダルトコーナーに岩国総合高校の生徒らが選書した約50冊の本が展示されました。

若者に本に親しんでもらうために高校生自身が選んだ本のコーナーを設置するというこの企画は、今回が初の取り組みで、展示期間は9月15日までです。

展示された約50冊の本は、2カ月間校内で生徒と教職員から「お勧めしたい本」を募集し、推薦があった約80冊から図書委員会の生徒らで選書したものです。



「上の方には校内で人気だった本を並べよう」など試行錯誤しながら展示を行った

中央図書館ヤングアダルトコーナーに高校生の選書を展示

参加した図書委員長の内海沙乃うつみさよさんと副委員長の山本太一さんは「ジャンルや人気のある作品のバランス、手に取ってもらいやすいようなレイアウトにもこだわった。まずは手に取ってみて、そこから本が好きになってもらえれば」と話しました。

市では令和2年に「子どもの読書活動推進計画（第四次）」を策定しており、今後も図書館とさまざまな学校との連携を進めていきます。

図中央図書館 ☎(31)0046



ポップなどは全て手作りし、気軽に手に取ってもらうように工夫したと話す山本さん(左)と内海さん(右)



本市でも今後30年間のうちに震度6弱以上の地震が発生すると予想され、地震への備えを呼び掛けている

住宅の適正な管理のために

7月19日～29日まで市役所1階展示コーナーで「住宅の地震対策・放置空き家対策パネル展」を行いました。

パネル展では地震を原因として起きたブロック塀などの倒壊の実態紹介や自宅の地震に対する強さを簡単に知ることが出来る耐震診断チェックシートでの確認コーナー、管理が行き届かない空き家を発生させないための対策などを紹介しました。

また7月30日には、近年問題となっている老朽危険空き家の

住宅の地震対策・放置空き家対策パネル展

問題に取り組むための生前整理セミナーを実施し、司法書士が遺言書の書き方や相続の手続き、民法上のポイントなどをわかりやすく解説しました。

市では12月2日まで、木造住宅の耐震診断員の派遣申請や耐震改修・危険ブロック塀等の撤去費用に対する補助の受け付け、老朽危険空き家の解体費用補助の受け付けを行い、住宅の適正管理を円滑に行うためのサポートを行っています。

図建築住宅課 ☎(29)5138



木造住宅の耐震診断員の派遣申請などの受け付けは12月2日まで